

設備なく隣接好間村大館火葬場で行はれつゝある有様下火葬場問題である處から目下町是調査會に於て町營火葬場の設置について

生意氣な言辭を弄して

教員を惱なす炭礦兒童「平等」、「横暴」等教員に迫る

爭議後之内郷各校

石城郡内郷村の人口數は全國に於ても稀な大村で村から一躍市制を劃してゐるだけに現在同村には四ヶ所の小學校があり其の児童數は約四千人に達し而も年年増加の傾向にあり本年度の學齡児童は七百人と云ふ驚く可き

在株式組合で毎期五割内外の高収には多額に費用を要すべく町政多端の折柄にて實現迄には或る程度の曲折は免れぬものと觀測されてゐる。

市制實施は近き將來にあるものと觀られてゐるが全町の死亡率も人口に比例し之亦概く可き數字に達してゐる、而して世の進化と共に之等死亡者の埋葬は年毎減少し最近では殆んど火葬に附するもの多く昨年中に於けるが最も當を得たものであらう火葬數は四百余を算する程なると言はれてゐるが同火葬場は現に向う数町にて火葬場が建設され、其の内二箇所が既に完成した。今後は火葬場の建設が見當らず現在の大館火葬場附近に設置すべく余儀なくされると見るが、同地内に設置することは或る種の事情から將來に於て面白からぬ結果を招來するの憂慮がある。現在の火葬場を買収して之を改築し理想的のものとす

思ふやうに行かぬ
頭痛鉢巻の平町
町是調査會で調査中

十夕
四
日刊
**東京
日報**

印 刷
福島縣石城郡平町細屋町十四
印 刷 所 加納活版所
福島縣石城郡平町細屋町十四
發 行 所 管城時報社
一部金武錢一ヶ月官參活版
廣告料一行十四字請金五十錢
▲日刊 (日報) 祭日休刊

記増子外七名が去る二日無断欠勤して賭博をなし平署に検舉されたのにあるがこそ内松本某、伊藤某の兩名はたゞ見てゐるに過ぎぬので折柄地盤擴張のため入り込んでゐた關東評議會が策

組合費の滞納 督促状

新
著
した木炭同業組合
を
發
す

平模擬市會
市會議員得票
二二一〇票
山崎清三
齊藤英三郎氏
二二八票

日本礦夫組合常磐地方聯合會發會式は来る二十日盛大に舉行する事既報の如くであるが、内郷村大字綴の日本労農黨磐城支部では十三日組織準備委員會を開いた結果二十日日本礦夫組合常磐地方聯合會發會式當日併せて日勞黨の發會式を舉行する事になつた。

▲道路指導標 赤井村三島部落では十二日青年團員、消防組員等出動道路に指道標を作つた。

▲農事講習會 神谷農事試験分場主催農事傳習會は十八

日午前九時から午後三時まで分場内に開き郡山本場本橋技手の稻苗の仕立方及稻作肥料に就いての講演がある。

▲赤井校同窓會 赤井第二小學校では十二日午前十時同校で同窓會を開いた。

高岡氏夫人逝く
草野村元代議士高岡唯一郎氏令閨千代子夫人は數年前から病氣で自宅に於て静養中であつたが最近病勢募り十三日午後八時遂に長逝した。葬儀は十七日午後一時自宅出棺同村光明寺で佛式により執行する筈である。

不職員連も全く之れが匡救に腐心してゐる。

賭博を見て居て

一 暫 着

磐炭解雇事件

内郷村磐城炭礦株式會社では數日前高坂坑々夫増子守(二八)外の講話があつた。

△米質改良講話會 大浦農會主催米質改良講話會は十三日午前九時から同村小學校に開催野村技師、安島平穀檢所長の講話があつた。

社ら兩人の解雇を取消したので事無きを得た。

九名を初め双葉二百五十三名、相馬三百六十四名、合計千二百六十三名の多數となつてゐるので組合では検査員や職員出張の都度拂込を督促してゐるが一向成績が舉らないので手古すり、爾十郎外多數立會の上抽籤を行ふ。四倉電氣株式會社では社會奉仕の意味で第一回高燭電燈の大値引提供を計劃して募集中の處申込二千口に達したので此程吉田

九五
六五
九四
八九
九五
六五
九五
吉井上
村吉井上
田葉木原野
一郎沃昌雄氏
安次郎氏德二五
治政彦一郎義
孝郎氏昌雄氏
平氏義誰氏

四月一日日本紙夕刊
選舉發表

一、議員數 都場其他の（十七名）す
（尙ほ當選豫想者にして議員たるを不承諾の各位はその旨
豫め御一報願上候）

一、市會議長 は議員の互選す
（尙ほ當選豫想者にして議員たるを不承諾の各位はその旨
豫め御一報願上候）

（來る十五日頃正式に督促
狀を發し夫れでも納付せねば裁
判にかけとると通告すること
になつた、滯納の主なる町村は
左の如くである。）

▲石城郡 平五九、上遠野四五
田人三二、湯本三八、川前三
八、入遠野三九、永戸三二、
上小川三〇

▲双葉郡 木戸四九、川内五二
津島三五

▲相馬郡 石神八一、原町五一

（来る十五日頃正式に督促
ひ左の如く景品を贈つた。）

B 號 一等（五圓券）富澤初次郎
佐々木糸平、阿部多吉、岡田
チカ、鈴木治郎吉、鈴木健治
吉田壽三郎、島田武雄、宮内
光次郎、堀川初三郎、鈴木春
司木田高義、西山藤太、愛
川九庫、小玉善吉、鯨岡牛次
郎、新妻茂平、松本寅吉
二等（三圓商品券）山木ヒデ
外十六名

九名を初め双葉二百五十三名、相馬三百六十四名、合計千二百六十三名の多數となつてゐるの組合では検査員や職員出張の都度拂込を督促してゐるが一向成績が舉らないので手古すりい

四倉電氣株式會社では社會奉仕の意味で第一回高燭電燈の大値引提供を計劃して募集中の處申込二千口に達したので此程吉田彌十郎外多數立會の上抽籤を行

福一抄
平模擬市會議員
投票締切日迫る
大方の人氣を博してゐる平模擬市會議員の投票締切期日は愈々迫る、左記各項により續々御投票あれ。

一、投票締切 三月三十一日

平模擬市會
市會議員得票
二二三〇票
山崎清三
一一一八票
齋藤英三郎氏
九八二票
小松茂樹

投票

「模擬平市會議長」

私の觀た
炭礦爭議批判 (二)
佐藤 稔

本社の企劃にかかる平模擬市會議員の投票締切りは愈々本月末日に迫つたので俄然人氣沸騰し一般ではすこ以前から持ちたてた投票を漸やく吐き出しそれ十四日朝第一便では投票が約八百枚位の整理に轉手古舞ひを演じた東になつて舞ひ込んだのでその豫定であつたが市會々議場の都合で十七名に改めた、將來平市政を談する有爲の人として大方の人氣を奨める七名は果して誰れか。將に刮目にする。

山代氏は相當の教育もあり、殊に無産者の生活を改善する爲めに労働運動をなし難い運動家である山代が俄かに解雇されて黙つてゐる筈がない

小田炭礦青年團發團式は十六日前九時好間村元山好樂館に開く筈で名士の講演、余興等がある。

模擬市會議員

人氣沸騰

午前九時好間村元山好樂館に開く筈で名士の講演、余興等がある。

小田青年團

發團式

午前九時好間村元山好樂館に開く筈で名士の講演、余興等がある。

模擬市會議員

人氣沸騰

午前九時好間村元山好樂館に開く筈で名士の講演、余興等がある。

で、君は忽ち對策を講ずる事となり本縣の労働運動者として郡山の田中利勝君と併稱され渡邊君は共産系の主義者なので忽ち小野田坑を中心と要視察人として警察の御厄介になら、關東評議會とか新人會とか、無產者青年同盟とか、黒色聯盟とかの極左分子が集つて、新戰術と云ふ名のもとに

義通君を招いて秘策を練つたので、會社の勝利になる事は明白な事實となつたのである。

組合員の多くも關係してゐる、ただけで、會社の勝利になる事は明白な事實となつたのである。

處から、極左分子を追つ拂つて、坑夫組合が主體となつて争議を開始する事になつたのである。

間も續いた、會社は之れに對して嚴重な警戒をなした、若し此の儘の状態があと幾日續くなら、多數の職員者を出し

て、坑夫組合が主體となつて争議を開始する事になつたのである。

三月二十二日午前六時五十九分平驛發午後二時成田着翌二十三日早朝大護摩修行、午後前十時頃成田解散

一、會費 金八圓五十錢也
但し片道汽車賃、車中晝食費、成田一泊諸費、大護摩修行費、箱札代、坊入諸費其餘解散迄の諸費一切を含む

左記へ御申込被下度會費同時に御拂込の事解散迄の諸費一切を含む

一、御申込 二月十五日迄
前記へ御申込被下度會費同時に御拂込の事解散迄の諸費一切を含む

一、出立解散
三月二十二日午前六時五十九分平驛發午後二時成田着翌二十三日早朝大護摩修行、午後前十時頃成田解散

一、出立解散

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百一

一百二

一百三

一百四

一百五

一百六

一百七

一百八

一百九

一百十

一百十一

一百十二

一百十三

一百十四

一百十五

一百十六

一百十七

一百十八

一百十九

一百二十

一百二十一

一百二十二

一百二十三

一百二十四

一百二十五

一百二十六

一百二十七

一百二十八

一百二十九

一百三十

一百三十一

一百三十二

一百三十三

一百三十四

一百三十五

一百三十六

一百三十七

一百三十八

一百三十九

一百四十

一百四十一

一百四十二

一百四十三

一百四十四

一百四十五

一百四十六

一百四十七

一百四十八

一百四十九

一百五十

一百五十一

一百五十二

一百五十三

一百五十四

一百五十五